

# 内視鏡診断支援機能「CAD EYE™(キャドアイ)」

## 導入しました

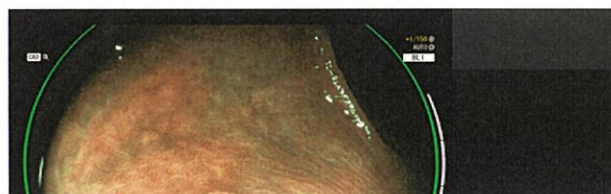
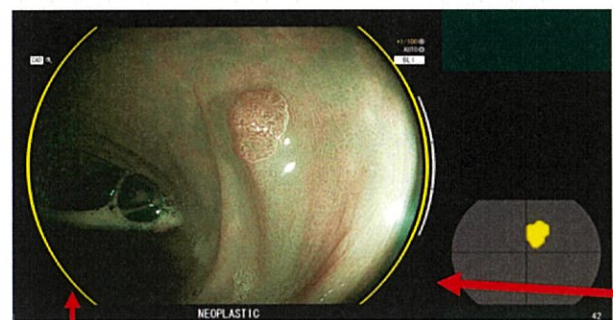
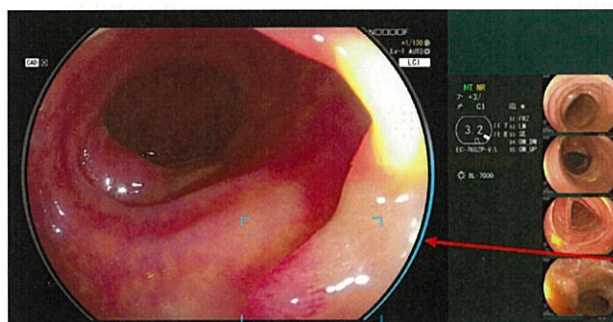
大腸の精密検査は内視鏡検査が一般的ですが、大腸はヒダが多くポリープの見逃しがあったり、検査をする医者ごとでの診断が異なることが課題となっています。

今回、当院でも導入した「キャドアイ」は、AI 技術を活用して、大腸ポリープなどを見つけ、そのポリープが腫瘍性か非腫瘍性か判断するのをサポートする機能です。

これを活用することで大腸がんの早期発見、早期治療につながります。

そもそも AI ってなんだろう・・・

AI とは人工知能の略称であり、人間のような知能を持ったコンピューターと捉えても良いようです。しかし明確な定義は定められていません。これまでの膨大な数の大腸内視鏡検査のデータを AI に学習させ、活用しています。



ポリープなどの病変を見つけると、周りを青い枠で囲ってくれます。同時に音を鳴らして教えてくれます。

※1 台しか無いので医師の指示により使い分けています

↑

ポリープ等が腫瘍性の場合  
は黄色になります。

↑

ポリープ等が非腫瘍性の場合  
は緑色になります。